

第110号

平成27年 6月号

社協だより



社会福祉法人 笠岡市社会福祉協議会

〒714-0098 笠岡市十一番町15(電話)62-3507(FAX)62-3590

みんな集まれ

夏のボランティア体験に参加してみませんか?



5月から夏のボランティア体験の受付を行っています。
 昨年は270名が参加し、夏休みの期間を利用して、笠岡市内の福祉施設などでボランティアを行いました。ボランティア活動に興味のある方は、この機会に是非ご参加下さい。

申込受付期間:平成27年5月25日(月)～6月15日(月)

※申込用紙に必要事項を記載の上、笠岡市社会福祉協議会までお申込み下さい。(詳しくは笠岡市社会福祉協議会(Tel.62-3507)まで)

第三次笠岡市地域福祉活動計画が始動します

昨年度、地域の皆様と作り上げた第三次笠岡市地域福祉活動計画が、平成27年4月1日より始動しました。地域福祉活動計画は、自分たちの住む地域の問題を発見・共有し、その解決策を住民をはじめ、福祉活動を行う関係者や各種ボランティア・NPO、保健医療・福祉の専門機関等と協働し解決を図る、民間による5か年計画です。これからの5年間の笠岡の地域福祉活動を皆様と共に行動・実践していきたいと考えております。どうぞよろしく願っています。

詳細は次のページにて。

もくじ

- 夏のボランティア体験のお知らせ … 1
- 第三次笠岡市地域福祉活動計画の概要 … 2～3
- 地域包括支援センター
 - ・平成26年度活動報告
 - ・介護予防シリーズ
 - ・寄付のお礼 … 4～5
- 社協平成26年度決算報告及び、平成27年度予算、共同募金助成団体募集 … 6
- 介護者の会、あじさいの会、わかば園、ことぶき大学開講式
 新人職員紹介、サンライフ … 7
- 市民後見人養成課程説明会
 社協会費のお願い
 法律相談、ほのぼの相談、結婚相談
 リサイクル … 8



この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。
 ホームページには福祉用具のリサイクル情報の最新版や相談についての掲示板等もございます。ご利用ください。
 ホームページアドレス <http://kasaoka.or.jp/>

市地域福祉活動計画を策定しました

平成27年度から平成31年度まで

みんなでささえて誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり

目 標

『り』を作ります
助け合っていく心を育てます
すく情報を伝えます
合いをすすめます
見直し、連携して協力できる
を作ります

地域福祉活動計画とは？
地域福祉活動計画は、笠岡市社会福祉協議会の呼びかけのもと市内の住民の方、福祉関係団体、NPO、ボランティア、福祉サービス事業者等が協力し、共に笠岡市にある地域福祉の課題解決をめざして策定した『民間の活動計画』です。
市内全体の福祉課題を関係団体で協議し、それぞれの活動をどのような方向で進めていけば笠岡市全体の地域福祉が推進されていくかを計画しました。策定にあたっては市内20カ所で住民座談会を開催し、住民アンケートと合わせて地域課題の把握を行い、計画を策定しました。



助け合いをすすめます

地域で出来る活動を推進しましょう。

ぐ把握できるのは、その地域に住んでいる住民域で出来る見守り活動の推進『地域の情報のた緊急時などの『災害』に備えた助け合いも必
独居、高齢者のみ世帯の増加などにより、自助域一丸となってささえていける『地域での見守り
しましょう。

声掛けなどの
しょう
しょう
しょう
検討しましょう

情報共有を行いましょ
しょう



促します

なって活動しましょう。住民の地域活
加を通じた後継者を育成しましょう。
の継続が重要となります。しかし『後継者』が見
いという問題が出てきています。『幅広い世代
から後継者の育成を図っていきましょう。また
した活動、地域の行事に施設が参加できるよう
様々な人が交流、参加できる環境づくりをおこ

を行いましょ
しょう
しょう
しょう

実施しましょ
取組みを行いましょ



⑥組織の活動や役割を見直し、 連携して協力できる体制を作ります

地域に住んでいる方の生活の困りごとを把握しましょう。
ネットワークを構築し、一体となって解決策を考える場を作り
ましょう。

既存の組織体制の中で、『生活の困りごと』に焦点を当てた地域課題の把握、そして課題を話し合う場や役割の見直しが大切になります。また同じ地域で活動している各種団体のネットワークづくりを行い、連携した活動と活動内容の明確化を図る事で地域一体となった取り組みをすすめていきましょう。

地域が出来る事

- ・組織を活かしながら地域の課題の把握をしましょう
- ・課題を話し合う場を作りましょう
- ・財源の確保を図るための企画や助成金情報を活用しましょう

⑤体が出来る事

- ・地域に向き情報を把握しましょう
- ・関係団体と連携し活動の効率化を図りましょう
- ・各団体から情報伝達の仕組みづくりを行いましょ
- ・専門機関と継続した相談体制を作りましょ
- ・助成金情報の活用や財源確保などの企画を実施しましょ



⑦新しい支援の仕組みを作ります

安心して子育てが出来る環境を作りましょ。
生活支援の充実や生活困窮者を支援しましょ。

安心して子育てが出来る地域と、成人まで途切れの無い支援が出来る環境づくり、そして各種制度の見直しにおける要配慮者への支援が出来る仕組みをつくりましょ。また昨今問題になっている生活困窮について、地域と関係機関がお互い手を結び、地域にある『個』の問題を社会全体の問題とし捉え考える複合的な仕組みをつくらせていきたいと思います。

地域が出来る事

- ・児童から成年まで継続した支援を行いましょ
- ・団体・企業等と連携して困っている人の生活支援を図りましょ
- ・生活困窮者を地域で支える仕組みをつくりましょ

⑤体が出来る事

- ・子育て支援の仕組みをつくりましょ
- ・生活困窮者を発見できる仕組みをつくりましょ



第3次笠岡

①人と人との『つながり』をつくります

世代間を越えたつながり! 近隣での日常的なつながり!
高齢者や障がい者等、支援が必要な人とのつながりを作しましょう。

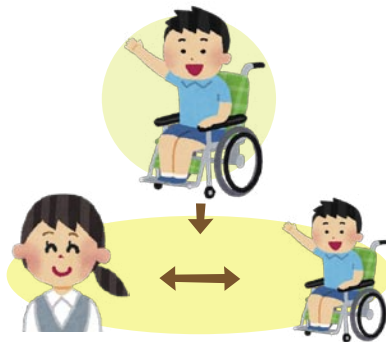
『誰もが安心して住みなれた地域で生活する』ためには、まず人と人とのつながりがとても重要です。『世代間を越えたつながり』『近隣での日常的なつながり』『支援が必要な人とのつながり』をつくっていくことで、地域の問題をみんなで話し合い、困ったときにその情報を伝える事が出来る関係を目指しましょう。

地域が出来る事

- ・世代を越えた多くの人が交流できる場をつくりましょう
- ・既存のイベントやサロンなどへの参加をしましょう
- ・日常的に隣近所の顔の見える関係作りを行いましょう

⑤ 体が出来る事

- ・世代間交流が図れる行事の推進をしましょう
- ・各団体が集まる事が出来る場や懇談会の開催をしましょう
- ・障がい者や高齢者、児童との交流の場を増やしましょう



重点

- ① 人と人との『つながり』
- ② お互いを認め合い、
- ③ 必要な人にわかりや
- ④ 地域で見守り・助け
- ⑤ 幅広い参加を促しま
- ⑥ 組織の活動や役割を体制を作ります
- ⑦ 新しい支援の仕組み

④地域で見守り・

地域の情報を共有し、
災害に備えた活動をし

地域(隣近所)の問題をす
の方です。そのためには『地
共有化』が重要となります。ま
要となります。少子高齢化、
では解決出来ない問題を地
り・助け合い活動』の構築を

地域が出来る事

- ・配慮がいる人の把握に努め、
つながりをつくっていきま
- ・子どもを地域で守る活動をし
- ・地区の防災計画を把握しま
- ・支援が必要な人の避難方法を

⑤ 体が出来る事

- ・適切な個人情報の管理をし、
- ・地域と専門職との連携を図り
- ・防災訓練を行いましょう

②お互いを認め合い、助け合っていく心を育てます

幼少期からのおもいやりの心を育み、高齢者・障がい者等への理解を深め
ましょう。また見守り活動を進め地域で『助けあい』を広めましょう。
災害時・緊急時への意識を高めましょう。

ささえ合い、助け合っていくためには、お互いを『認め合い』そして『助ける事が出来る心』を
育む必要があります。そのためには幼少期から、障がいなど様々な生活を送っている人を知っ
ていくことが必要です。高齢者や障がい者等の現状についての正しい知識を身に付ける事で、
差別につなげることなく、お互いを認め合い、助け合っていく心が育まれるのではないでしょ
うか。

地域が出来る事

- ・道徳の意識を地域ぐるみで高めましょう
- ・障がい者・高齢者・児童との交流を図り理解を深めましょう
- ・見守り活動を行いましょう
- ・防災について考えましょう

⑤ 体が出来る事

- ・福祉教育の推進を図りましょう
- ・地域福祉サポーターを育てましょう
- ・地域単位で救命講習などを開催しましょう



③必要な人にわかりやすく情報を伝えます

相談の窓口と既存の制度・サービスの周知を分かりやすくおこないましょう。

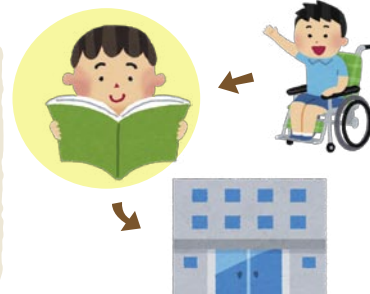
支援が必要な人が『知らない』ということで、サービスが利用できないということがあっては
ならないことです。必要な情報をいち早く得られる環境を作っていくためには、窓口の明確化
や各種団体からの情報提供ができる環境づくりが必要です。制度やサービスなどを分かりやす
く広報し必要な人につながる仕組みを作りましょう。

地域が出来る事

- ・各種団体がどのような役割を行っているか周知しましょう
- ・広報の仕方を工夫し、多くのメディアを活用しましょう
- ・高齢者の活躍の場を周知しましょう

⑤ 体が出来る事

- ・子ども・障がい者・高齢者の相談窓口を周知しましょう
- ・制度に無い生活支援に関する情報をまとめて周知しましょう



⑤幅広い参加を

施設と住民が一体と
動への参加を促し、参

どの活動においても活動
つからず、活動を継続できな
の参加』『幅広い参加の場』
地元の施設と地域との協働
な事業の企画などをとおし、
ないましょう。

地域が出来る事

- ・地区にある施設と一緒に行事
- ・地域のイベントや会合に参加
- ・若い人が関心をもつ活動を実
- ・サロン等への参加を勧めま

⑤ 体が出来る事

- ・地域の人が参加できる企画を
- ・活動の後継者ができるように

地域包括支援センター

平成26年度活動報告

笠岡市の高齢者の総合相談窓口として、福祉・保健・介護の専門職員（三職種）が連携を図り活動しました。

総合相談

各地区に、主任介護専門員・保健師・社会福祉士の専門職を配置し包括的に支援しました。

	26年度	25年度
○相談件数(重複有)	2,832件	2,728件
○高齢者の実態把握	685件	879件
○2次予防マネジメント	15件	33件
○介護予防プログラム	23件	29件
○支部社協・地区民協との連携強化		
○夜間・休日の相談(26年度設置)	26件	—



権利擁護事業

高齢者への虐待防止や成年後見制度への活用等の支援等を行いました。

○高齢者虐待防止支援チームの開催	4回
○高齢者虐待対応件数	92件
○成年後見制度への対応等	35件

地域のネットワークづくり

専門機関、地域住民との連携を強め、支援のネットワークづくりを行いました。

○小地域ケア会議の開催	5回
○多職種での個別ケア会議の開催	1回
○ケアマネジャーへの個別支援	698回

認知症施策総合推進事業

認知症になっても、住み慣れた地域で生活できる地域づくりに取り組みました。

○認知症サポーターの養成	7回	164人
○認知症懇談会の開催 (春日台・大井南・西大戸・東大戸・小平井)	5地区	
○認知症セミナーの開催	参加	56人



亡母 枝廣景子(古浜)
亡母 掛谷邦洋(篠坂)
亡母 小寺壽夫(今立)
亡妻 仁科博雄(今立)
亡父 中村喜光(笠岡)
亡妻 佐藤修造(生江浜)
亡夫 杉田幸宏(笠岡)
亡妻 藤井成子(笠岡)
亡子 松枝亨(横島)
亡父 高田宏(甲賀)
亡父 小野俊之(富岡)
亡夫 大内八百子(金浦)
亡父 西江昌展(押撫)
満中陰志

平成27年2月16日〜平成27年5月15日(敬称略)
※掲載についてご了承いただいた方のみ、お名前を記載させていただきます。
おります。

ありがとうございました

介護予防シリーズ⑪回目 — 地区の取り組みをのぞいて見よう! —

これまで10回「いきいき百歳体操」をとり組んでいる様子を紹介してきました。
今回は、市内のとりくみMAPを、ど どんとご紹介します!!

いきいき百歳体操とりくみMAP

H27.4末

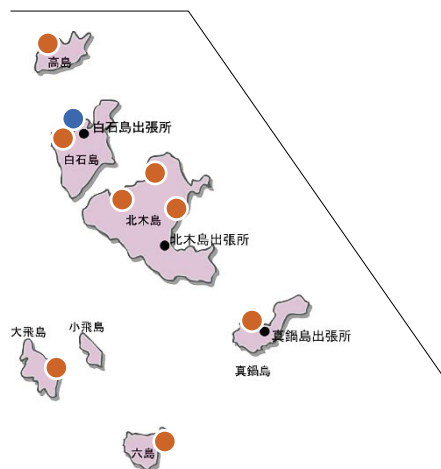


●いきいき百歳体操とは

足腰や腕の力をつけていく体操で、重りを使った筋力体操とストレッチを約40分かけて行います。



住民でつくる!
元気と笑顔と
仲間たち★



●体操とり組み地区
●健康長寿愛らんど教室



「参加したい」「活動したい」方は、ご相談下さい。

●5人以上、週1回以上体操したいグループに、応援をしています。

●地区によって、時間が異なります。

お問合せ：笠岡市地域包括センター ☎62-6662 (保健師まで)

一般寄付

カラオケ じんせき
長安紀明(新横島)

亡夫 平岡ヒサコ(関戸)
亡母 折橋啓一(入江)
亡母 福尾光輝(走出)
亡母 池田史朗(倉敷市)
亡母 塩飽 湊(大河)
亡父 中野哲理(尾坂)
亡母 徳光郁夫(笠岡)
亡父 藤本精吾(岡山市)
亡母 坂本恵子(大宜)
亡父 小川玄三郎(吉浜)
亡父 中塚厚司(走出)
亡父 田口清隆(笠岡)
亡母 長尾寛志(吉浜)
亡祖父 松浦将史(有田)
亡母 西原輝吉(白石島)
亡叔母 小野莊太郎(大阪府)
亡父 藤井裕文(用之江)
亡母 中山則義(笠岡)
亡父 福尾恵司(走出)
亡父 安藤 勇(新賀)
亡母 伊藤克明(神島)
亡父 藤井淳司(金浦)
亡妻 田村雅俊(神島)
亡子 小林卯一(入江)
亡子 廣常昭弘(西大島)
亡母 虫明峯一郎(金浦)



平成26年度決算報告及び平成27年度予算

<平成26年度決算>

収入内訳	決算額
会費収入	8,367,465
寄付金収入	3,445,073
経常経費補助金収入	37,861,488
助成金収入	10,000
受託金収入	115,689,124
事業収入	3,859,790
貸付事業等収入	833,000
共同募金配分金収入	12,558,048
負担金収入	404,000
介護保険収入	68,592,796
自立支援費等収入	2,157,547
雑収入	868,410
受取利息配当金収入	48,738
経理区分間繰入金収入	16,044,254
固定資産売却収入	100,000
前期末支払資金残高	31,598,956
合計①	302,438,689

支出内訳	決算額
法人運営事業	28,436,523
地域福祉事業	34,972,358
緊急援護資金貸付事業	833,000
共同募金配分金事業	12,880,048
権利擁護事業	8,835,955
居宅介護支援事業	13,952,713
介護予防事業	11,887,611
地域包括支援センター事業	125,069,108
福祉有償運送事業	269,161
訪問介護事業	31,091,939
合計②	268,228,416

当期末支払資金残高①-② 34,210,273

特別会計

収入	42,279,623
支出	42,279,623

<平成27年度予算>

収入内訳	予算額
会費収入	8,700,000
寄付金収入	4,000,000
経常経費補助金収入	43,207,000
受託金収入	160,718,000
貸付事業収入	700,000
事業収入	7,663,000
負担金収入	400,000
介護保険事業収入	70,836,000
障害福祉サービス等事業収入	2,280,000
受取利息配当金収入	2,000
雑収入	386,000
経理区分間繰入金収入	15,357,000
前期末支払資金残高	34,163,000
合計①	348,412,000

支出内訳	予算額
法人運営	21,523,000
地域福祉事業	32,854,000
権利擁護事業	11,055,000
貸付事業	4,907,000
地域包括支援センター事業	126,164,000
居宅介護支援事業	14,908,000
訪問介護事業	32,962,000
その他福祉サービス事業	28,591,000
共同募金配分金事業	6,262,000
老人福祉センター	11,356,000
保健センター	16,886,000
サンライフ笠岡	13,138,000
合計②	320,606,000

当期末支払資金残高①-② 27,806,000

※平成27年度から新会計基準による

平成27年度共同募金 助成団体募集中!



◎まちづくり福祉活動助成事業

■目的

「見守り」「助け合い」の地域福祉活動に積極的に取り組む団体や、孤立を防ぐための活動を行う団体に対して活動費を助成します。

■対象

笠岡市内に所在するNPO・ボランティア・福祉活動団体など
平成27年6月30日(火)必着

■応募締切

◎地域福祉団体助成事業

■目的

誰もが安心して生活できる地域社会の構築にむけて、地域の実情やニーズに応じたさまざまな地域福祉活動を行う団体を支援します。

■対象

笠岡市内に所在するNPO・ボランティア・福祉活動団体・社会福祉法人など

■応募締切

平成27年7月24日(金)必着

■審査決定

平成27年8月上旬

◆「まちづくり福祉活動助成事業」「地域福祉団体助成事業」の要項・申請書等は笠岡市社会福祉協議会のHPか事務所までお問い合わせ下さい。

笠岡ことぶき大学 開講式

来たる4月27日に笠岡ことぶき大学が開講し、今年度は343名が入学されました。式典第一部の基調講演では、栃社山浄土院住職の漆間宣隆先生をお招きし、「生涯学習について」大変興味深いお話をいただきました。笠岡ことぶき大学は、年間を通して受講生を募集しています。みんなで楽しく学んでいきましょう。

問い合わせ／笠岡市社会福祉協議会(☎062-35507)

介護者の会 会員募集

笠岡市介護者の会は、介護についての悩みや、リフレッシュを目的に毎月第2水曜日 13時30分～笠岡市老人福祉センター会議室にて開催しています。興味のある方は、笠岡市社会福祉協議会(☎062-35507)までご連絡ください。

★交流会の様子★

4月8日に総会及び小旅行を行いました。井原市の嫁入らず観音に参拝した後、お多津にて総会をし、その後昼食を食べながら、情報交換や談笑を行いました。つかの間ではありましたが、楽しい時間を過ごすことができました。



傾聴ボランティアあじさいの会

現在では心の受難時代と言われ、お年寄りから子供まで心の安定が求められています。あじさいの会では、カウンセリングの手法を用いて「傾聴ボランティア」を行っています。心に寄り添って聴いてもらうだけでホッと、肩の荷がおりたり、元氣を取り戻したりします。

(活動内容)★勉強会

7～9月の毎月第1・3木曜日13時30分から6回シリーズで行います。

7月は2日・16日(木)の予定となります。

興味のある方は是非ご参加下さい。

申込先／笠岡市社会福祉協議会(☎062-35507)



新人職員紹介



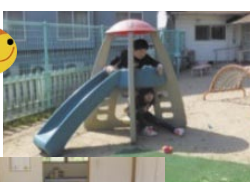
山崎 由美子

地域支援係に配属になりました山崎です。精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



金田 富恵

4月1日から採用されました。金田です。わかば園の子供達が楽しく過ごせるように頑張ります。よろしくお願いします。



わかば園

あたたかな春がやってきました♪わかば園ではみんな元氣よく外で遊んでいます。

虫たちも顔をのぞかせ子ども達はおおはしゃぎです。

お天気がいい日には園庭でお弁当を食べるのもいいですね。



サンライフからの お知らせ

サンライフ特別講座生募集

◆ピースフローチ

(と き) 6月30日(火)

9時30分～12時

(参加費) 1000円～2000円

(締切日) 6月23日(火)



バグース特別講座生募集

(15歳～35歳)

◆萬木先生のアレンジフラワー

(と き) 6月17日(水)

18時30分～20時30分

(準備物) 花ばさみ

(参加費) 3000円

(締切日) 6月14日(日)



◆浴衣を着てみませんか

(と き) 6月28日(日) 10時～12時

(準備物) 浴衣・半幅帯伊達締め・肌着(和装用がなければ)

キヤミソールとペチコート)

帯板(あれば)・腰ひも3本

フェイスタオル2枚

(参加費) 無料

(締切日) 6月22日(月)

(参加費) 無料



※各講座の詳しい内容はお問い合わせ願います。

※申込み・問合せ

サンライフ笠岡 ☎(066)15533

市民後見人養成課程説明会

養成課程を受講するためには、この説明会への参加が必須となります

- 日時 第1回説明会 7月3日(金)14時～16時
第2回説明会 7月4日(土)10時～12時
※内容は同じですので都合が良い日にご参加ください。
- 会場 笠岡市老人福祉センター会議室
- 対象者 笠岡市在住で30歳以上75歳未満の方
- 申込み先 6月30日(火)までにお電話でお申込みください。
☎62-5590(かさおか権利擁護センター)

笠岡市では認知症や知的障がい、精神障がい等の理由によって判断能力が不十分な方々の生活を同じ地域住民の目線から支えていく「市民後見人」の養成に取り組んでいます。そこで、市民後見人の養成に関する研修等の受講説明会を開催しますので、ふるってご参加ください。

社会福祉協議会 会費のお願い

社会福祉協議会では地域の皆様方と協働で地域の福祉活動の充実を図り「みんなでささえて誰もが安心して暮らせるまちづくり」を掲げています。

社会福祉協議会会費は、各地区の支部社協に交付金として還元される他、各種福祉事業に使われます。ご協力よろしく願います。

○普通会費	一世帯あたり	年 500円
○賛助会費	一人あたり	年 1000円
○特別会費	一口あたり	年 5000円

無料法律相談

弁護士による無料法律相談
(要予約:62-3507)

※1人30分以内

先着順での受付になりますので、予約はお早めをお願いします。

毎月第3金曜日
14:00～16:00

ふれあいほのぼの相談

民生委員、ソーシャルワーカーなどによる介護相談、生活相談などの一般相談。

「話す」という少しの勇気で変わることもあります。お気軽にどうぞ。

月曜から金曜
8:30～17:15

結婚相談

結婚相談員による結婚相談
(要予約:63-1533)

<登録者>

男性:89名/女性:55名

※プロフィールの閲覧は登録後電話連絡の上、お越しください。

毎月第2・4日曜日
9:00～12:00

福祉用具リサイクル情報

【ゆずってください】

おんぶひも(1) 子ども食事イス(1)
子ども用自転車(1) ジュニアシート(1)
介護用ベット(1) 大人用紙パンツ M(1)

【ゆずります】

ベビーカー(1) ベビーラック(4)
ベビーバス(1) チャイルドシート(4)
木馬(1) ベビーベット(2)
リハビリパンツL～LL(数袋) 採尿器(1)
ポータブルトイレ(2)(内2※木製)
その他

※直接肌に触れるものは原則未使用のものに限らせていただいております。

※持ち込みの際は、ある程度汚れを落としてお持ちください。



ベビーベット



ベビーラック